

自分でできる簡単な本の修理講座 全4回

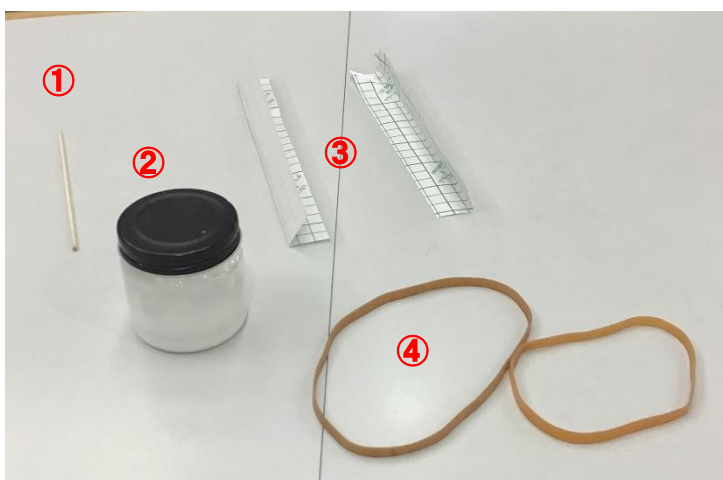
第2回 お家で出来る修理方法

前回第1回ではどういう状態の本が修理対象になるかを紹介したので今回は実際にそれらを修理してみたいと思います。

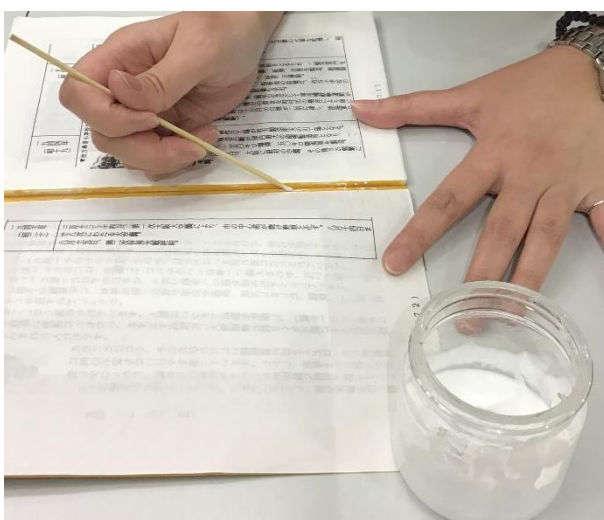
まずはお家で本を修理する場合どうすれば良いかご紹介します。

用意するものは以下の4つ。

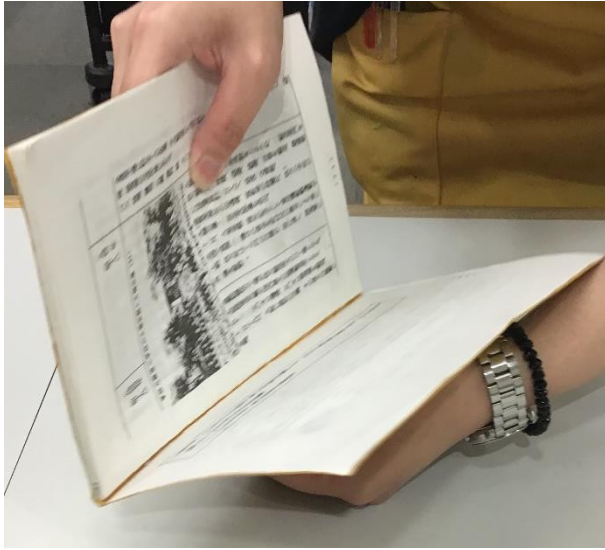
- ①竹串
- ②水溶性ボンド
(木工用ボンドを水で溶いたもの)
- ③パラフィン紙
(クッキングシートなど表面がつるつるで水を弾くような紙)
- ④輪ゴム
(他、クリップなど本を固定できるもの)



ケース1. のど割れ



竹串で割れた部分にボンドをつけます。
ポイントはあまり多く塗らないこと！
たくさん塗るとはみ出してしまいます。



割れ目がちゃんと合うようにくっつけ
ます。



固定するために輪ゴムをかけて、
(クリップで挟むか辞書などの重い本の
間に挟んでの固定でもOKです！)



完成です！

一晩しっかり乾かしてください。

ケース 2. ページ外れ



竹串でボンドを外れたページの方に少しずつ間隔を開けて付けます。

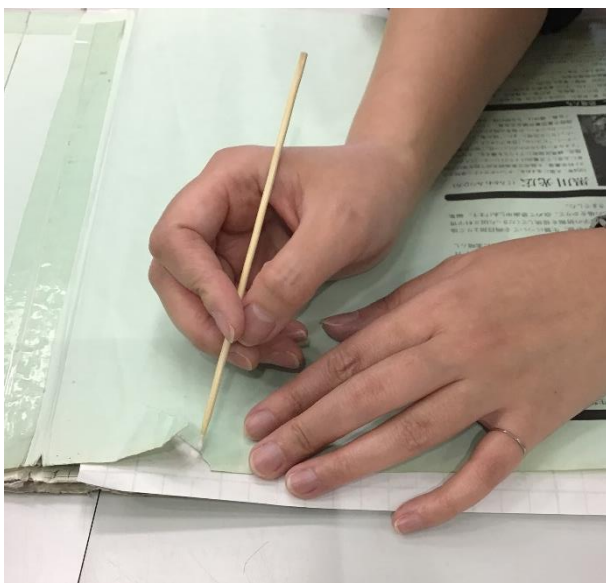


ボンドを付けたページを外れた個所につ
けます。ページが飛び出さないよう
にしっかり押し込むのがポイント！

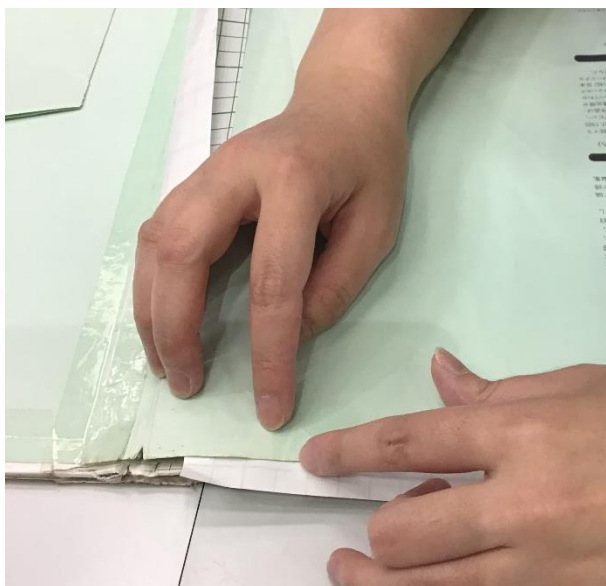


固定して完成！

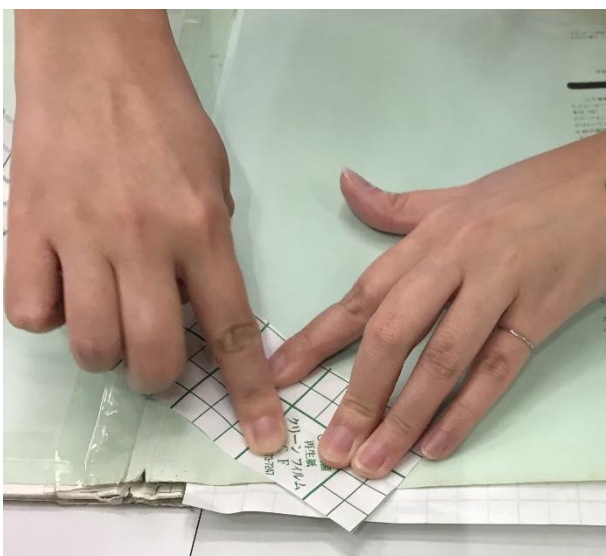
ケース 3. ページ破れ



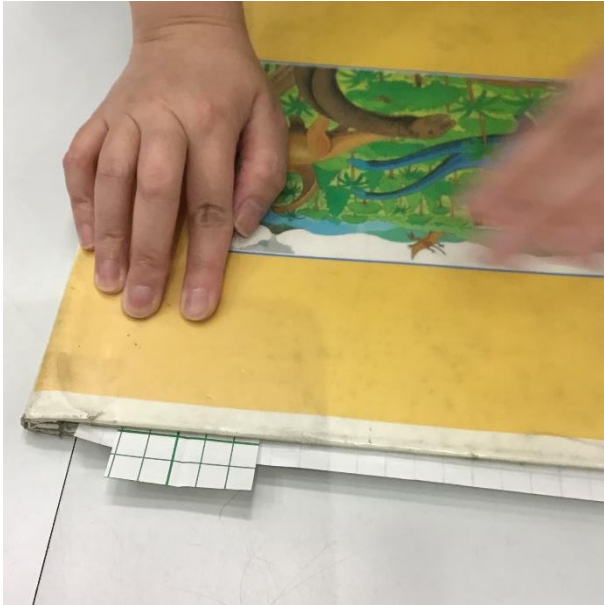
パラフィン紙を下に挟んでのりしろ部分（破れた時に出来た段差）に少しだけボンドを付けます。



継ぎ目がちゃんと合わさっているか確認して…



パラフィン紙で押さえます。



動かないように押さえながらパラフィン紙ごと挟んで固定したら完成。

ちなみにパラフィン紙を使うのはつるっとしていてボンドがくっつかないからです。

今回はのど割れ・ページ外れ・ページ破れの3種類の修理方法をご紹介します。
お家にあるものばかり使っているので良かったらお家の本で試してみてくださいね！
※図書館の本は修理せずそのまま図書館へお持ちください。

次回は、

図書館員が日々行っている少し特別な道具を使って行う修理方法をご紹介します！
本の装備など普段皆さんが目にする事のない図書館のお仕事をお見せします。